

課題

【小・国語】文の中における主語と述語の関係を理解することが苦手

手立て

日頃の授業や日常生活の中で、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係等を意識付ける。

具体例

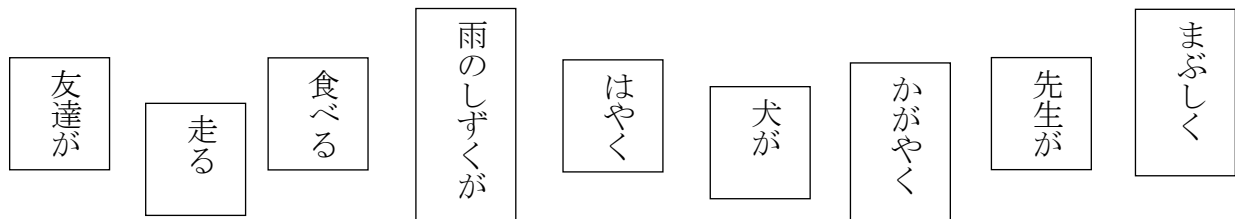
POINT① 教材文の主語、述語を随時確かめながら読む。

「主語・述語」は2年生の学習内容。低学年から意識させていきたい。

- ◎主語をとらえるには、述語にあたる言葉と、「～は」「～が」「～も」がついている言葉に着目し、それらの意味がつながるかを確認することが大切である。日頃の国語科の授業の中で、教材文を読む際に、主語がどこにあるか、主語と述語との関係について意識させるとよい。
- 文の中に主語がない場合、主語と述語が倒置されている場合もあることもおさえる。
- 例・夏休みに妹は海に行きました。山にも行きました。(主語がない)
- ・聞こえてきたよ、子犬の声。(主語と述語の倒置)

POINT② 主語、述語、修飾語が書かれたカードを使い、文作りをする。

- ◎主語、述語、修飾語を書いたカードを組み合わせ、意味の通る文を作る。
- 児童が自らカードを作ったり、文と文を組み合わせる二つの文を作ったりすると、さらに理解が深まる。



POINT③ 「ちばっ子チャレンジ 100」を活用する。



- ◎千葉県教育委員会が作成した「ちばっ子チャレンジ100」の中・高学年に「主語と述語に関する問題」がある。県教委のHPからダウンロードして、授業のワークシートや復習プリントとして活用することができる。

主語 述語 修飾語

① 年 組 番号 名前

② 兄は六時に学校から帰ります。

③ 西の空がとつぜん暗くなった。

④ わたしのランドセルは、赤い。

⑤ 次の文の主語、述語、修飾語をそれぞれ書きなさい。

⑥ 次の文の主語、述語、修飾語をそれぞれ書きなさい。

主語 述語 修飾語

① 年 組 番号 名前

② 兄は六時に学校から帰ります。

③ 西の空がとつぜん暗くなった。

④ わたしのランドセルは、赤い。

⑤ 次の文の主語、述語、修飾語をそれぞれ書きなさい。

⑥ 次の文の主語、述語、修飾語をそれぞれ書きなさい。